

2019年6月期 決算説明会資料

目次

■ I. 決算概要

決算サマリー	1
グラフでみる当社グループの推移・動向	2
当社グループの事業内容、セグメント売上高	4
事業セグメント、事業内訳の状況	5
2019年6月期 決算のトピックス	6
配当について	9
財務状況	10
2020年6月期連結業績予想	11

■ II. 今後の事業戦略

基本戦略	12
将来目標	15

■ III. Appendix

セグメントごとの納入事例・紹介	16
事業拠点	24
注意事項	25

SECURITIES CODE : 6061

株式会社 **ユニバーサル園芸社**

2019年8月22日

1. 決算概要

決算サマリー

要約連結損益計算書、1株当たり指標

■ 業績は景況感回復を背景に増収増益

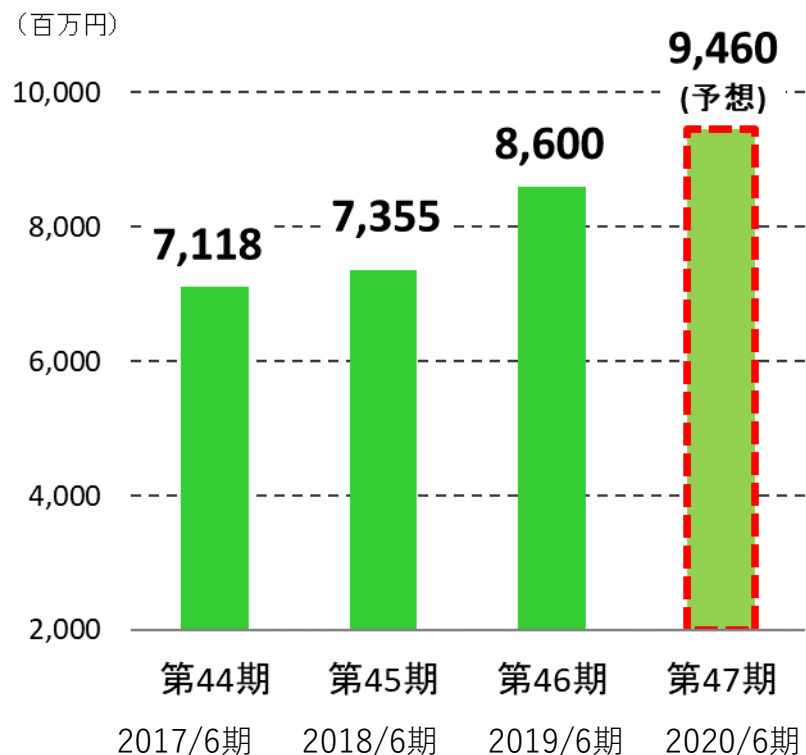
■ 主力事業のグリーン事業において、レンタルグリーンにおける新規顧客の獲得や販売促進のためのマーケティング活動に引き続き注力したほか、園芸ネット株式会社を連結子会社にし、生花店及び園芸雑貨店に新たにネット通信販売との相乗効果を図り増収増益となりました。

(百万円)

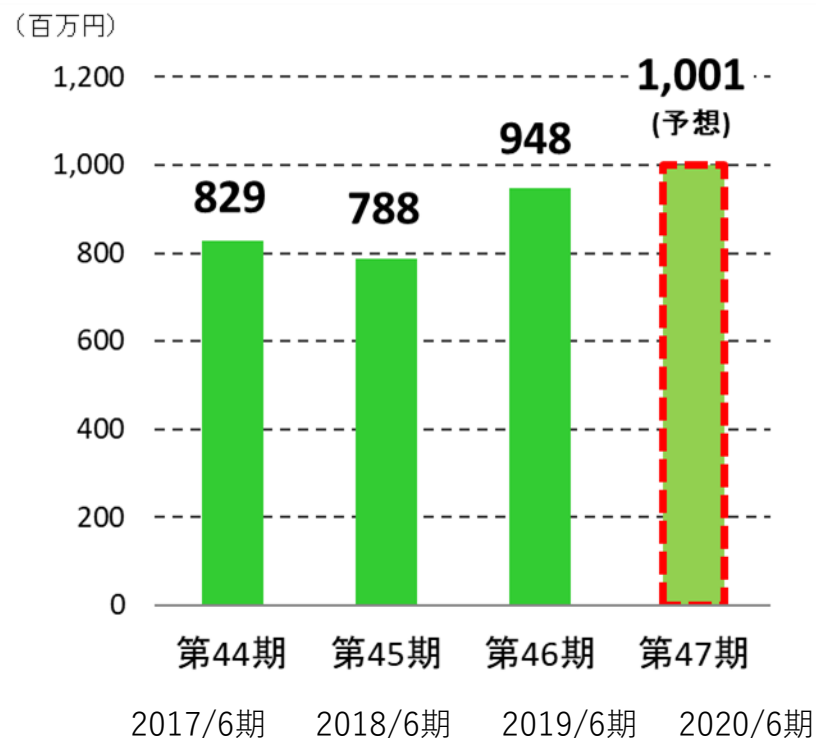
	第45期 (2018年6月)		第46期 (2019年6月)		
	百分比 (%)		百分比 (%)		前期比 (%)
売上高	7,355	100.0	8,600	100.0	16.9
営業利益	788	10.7	948	11.0	20.3
経常利益	808	11.0	955	11.1	18.2
親会社株主に帰属する当期純利益	403	5.5	500	5.8	24.0
1株当たり当期純利益 (円)	84.01		104.14		
1株当たり純資産 (円)	1,340.11		1,431.52		

グラフでみる当社グループの推移・動向

売上高

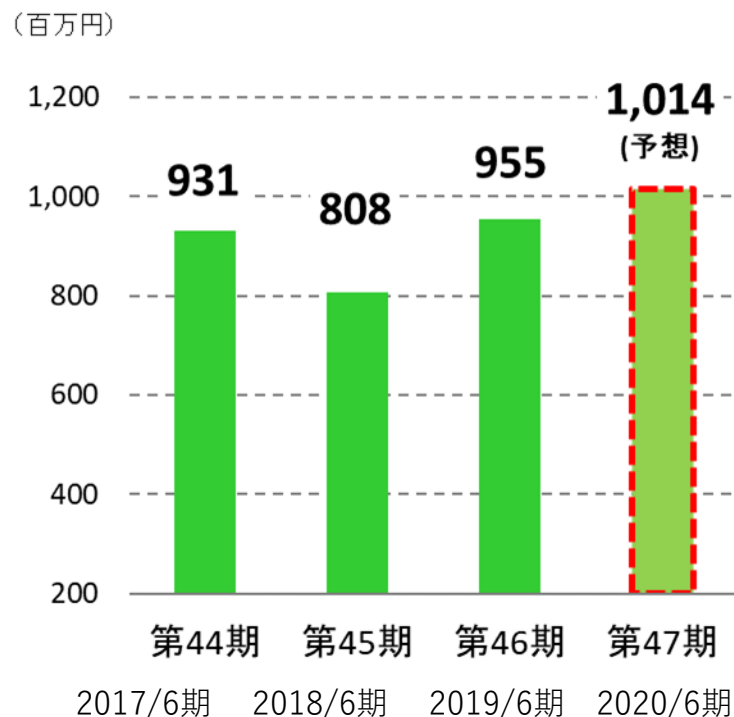


営業利益

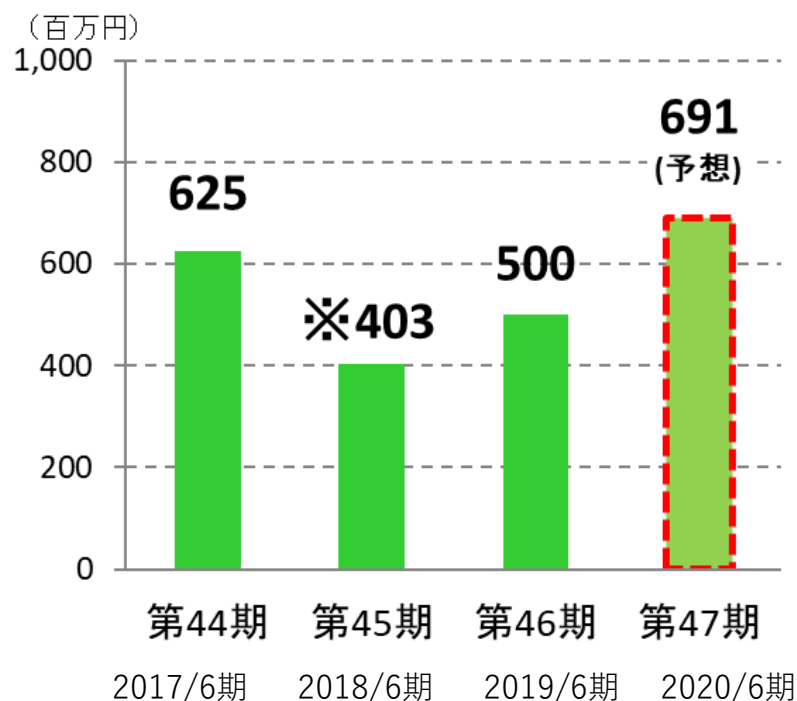


グラフでみる当社グループの推移・動向

経常利益



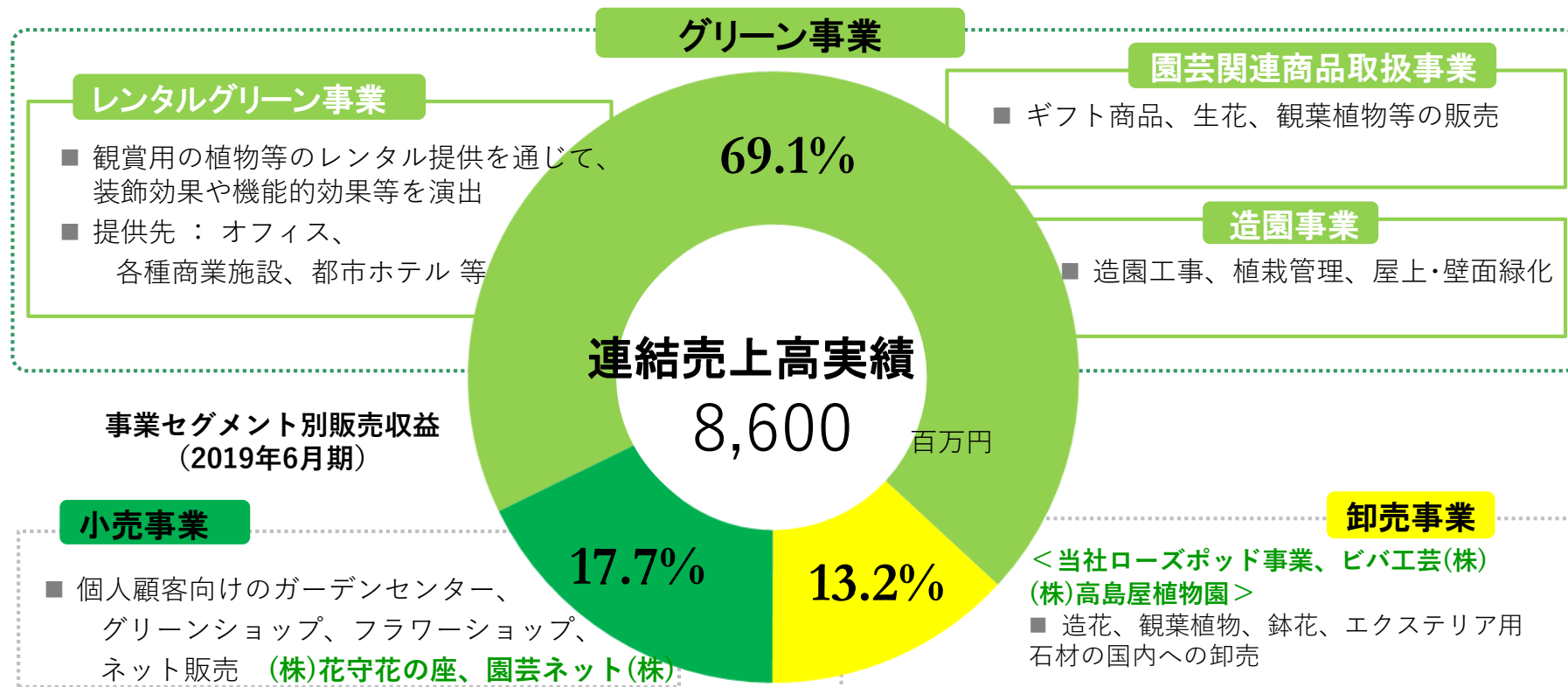
親会社株主に帰属する当期純利益



※第45期の親会社株主に帰属する当期純利益は、米国の税制改革法の成立に伴い米国子会社において、将来の税負担軽減を見込んで貸借対照表に計上していた繰延税金資産を取り崩すことによる税金費用が増加したことにより減少しております(125百万)。

当社グループの事業内容、セグメント売上高

■ グリーン事業が連結売上高の約69%



※円グラフはセグメント間の内部取引高を含めた比率で表示しております。

事業セグメントおよびグリーン事業内訳（エリア別）の状況

事業セグメント

(百万円)

		第45期 (2018/6期)	第46期 (2019/6期)	前期比 (%)
グリーン事業	売上高	5,367	6,140	14.4
	利益	702	825	17.6
卸売事業	売上高	977	1,171	19.8
	利益	94	104	10.7
小売事業	売上高	1,138	1,575	38.4
	利益	-31	-11	—

グリーン事業におけるエリア別内訳

(百万円)

		第45期 (2018/6期)	第46期 (2019/6期)	前期比 (%)
関東エリア	売上高	2,088	2,376	13.8
	利益	451	492	9.1
関西エリア	売上高	1,587	1,731	9.0
	利益	372	411	10.4
海外エリア	売上高	1,691	2,032	20.1
	利益	-122	-78	—

- 主力のグリーン事業は米国のローリング・グリーンズ・インク社の収益改善に取り組んでいるがのれんの一部の減損損失を計上。国内は景況感の回復が進み、契約数の増加によりグリーン事業全体では増収増益
- 卸売事業は販売先の拡大等の営業強化に取り組んだことにより増収増益
- 小売事業は第2四半期連結会計期間より園芸ネット株式会社を連結子会社化したことや季節的要因により増収となったものの、引き続き設備投資の償却負担が回収できなかったこと等によりセグメント損益は損失

※各業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

※セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2019年6月期 決算のトピックス

① M&A シンガポール進出

- ◆ 2018年6月にMIRAGE GREEN Pte Ltd（ミラージュグリーン社）の発行済株式の75%を取得し、子会社化。本連結会計年度より売上に寄与（第2四半期決算よりミラージュグリーン社7～3月分結合）。



2019年6月期 決算のトピックス

②東京中央支店開設

◆ 2018年8月にグループの主力事業であるレンタルグリーン事業の拡大を目指し、首都圏における営業活動の効率化を含め、東京都江東区に支店を開設しました。



外観写真

③園芸ネット株式会社子会社化

◆ 2018年10月に園芸関連商品の業容拡大、成長の為、園芸におけるネット通信販売において国内では先駆者的な存在である園芸ネット株式会社を子会社化しました。（第2四半期決算より園芸ネット株式会社10～5月分結合）



通販トップページ

2019年6月期 決算のトピックス

④the Farm OSAKA いちご園 O P E N

- ◆ 2019年1月に、大阪府茨木市にあるthe Farm UNIVERSAL内に新しく、いちご園「Strawberry Farm NO.15」がオープンしました。
2019年12月に同施設内に2号店 O P E N 予定。



園内写真



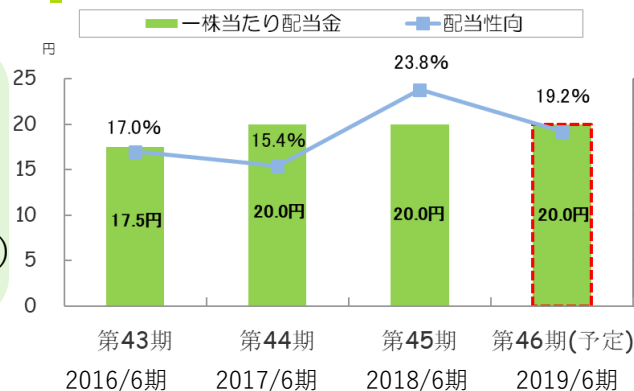
外観写真

配当について

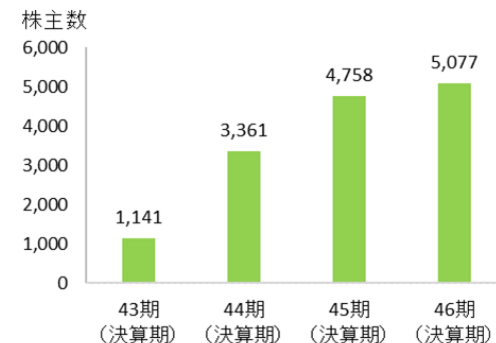
配当総額の推移

2016年6月期	84,082,425円
2017年6月期	96,092,460円
2018年6月期	96,091,560円
2019年6月期	96,090,320円 (予定)

配当金の推移



株主数の推移



※一株当たり配当金は分割を考慮した上で、遡及修正しております。

配当方針

- ・ 内部留保の確保等により財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主への長期的な利益還元を第一とし、継続的かつ安定的な配当を実施
- ・ 配当水準については、安定的な株主還元を主軸に、利益水準や内部留保の増大にあわせて適宜引き上げを検討

株主優待制度の拡充

2017年12月より、本決算に加え、毎年第2四半期期末（12月31日）現在の当社株主名簿に記載または、記録された1単元（100株）以上を保有されている株主様を対象に当社オリジナルクオカード1,000円分を進呈しております。

基準日	保有株式数	優待内容	発送時期
6月末日	100株以上	当社オリジナルクオカード 2,000円分	9月下旬
12月末日	100株以上	当社オリジナルクオカード 1,000円分	3月上旬

財務状況

連結貸借対照表

第45期 決算期(2018/6月末)

(百万円)

流動資産	3,566	流動負債	896
(うち手元流動性)	2,354	固定負債	462
固定資産	4,233	負債計	1,359
(うち投資その他資産)	1,542		
		純資産計	6,441
総資産計	7,800	負債・純資産計	7,800

82.5%

第46期 決算期(2019/6月末)

(百万円)

		前期末比(%)		前期末比(%)	
流動資産	4,292	20.4	流動負債	1,007	12.3
(うち手元流動性)	2,886	22.6	固定負債	472	2.3
固定資産	4,065	-4.0	負債計	1,480	8.9
(うち投資その他資産)	1,419	-8.0			
			純資産計	6,877	6.8
総資産計	8,357	7.1	負債・純資産計	8,357	7.1

82.3%

※手元流動性は、当社連結貸借対照表の流動資産項目のうち、現金及び預金並びに有価証券の合計額を記載しております。

2020年6月期連結業績予想

業績予想のポイント

- レンタルグリーンへのシェア拡大に注力
- 海外事業の収益改善
- レンタルグリーン事業のお客様よりギフト、ランドスケープ等波及した園芸関連商品の受注拡大
- 経費削減等による収益力強化

(百万円)

	第46期 (2019/6期)		第47期予想 (2020/6期)		
		百分比 (%)	百分比 (%)	前期比 (%)	
売上高	8,600	100.0	9,460	100.0	10.0
営業利益	948	11.0	1,001	10.6	5.6
経常利益	955	11.1	1,014	10.7	6.3
親会社株主に帰属する当期純利益	500	5.8	691	7.3	38.2
1株当たり当期純利益 (円)	104.14		143.87		
1株当たり配当金 (円)	20.00		20.00		

II. 今後の事業戦略

基本戦略

1 グリーン事業の収益基盤の強化

- 多数の幅広い顧客による支持→技術力、サービス力向上→顧客満足度の向上より企業価値の向上
- レンタルグリーンのシェア拡大

レンタルグリーン市場における当社の国内シェア
・・・推計6%程度※⇒**シェア拡大余地は大きい**

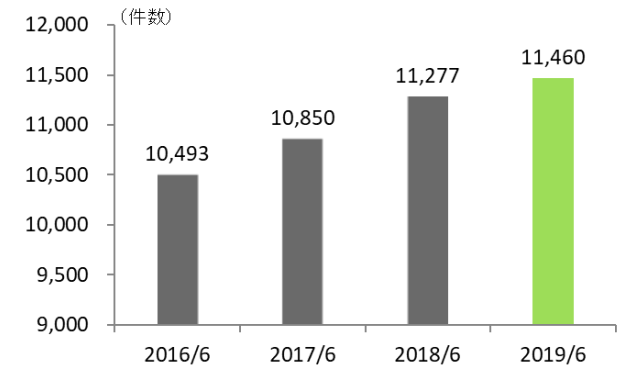
2 レンタルグリーン事業のお客様よりギフト、装飾、ランドスケープ等波及した園芸関連商品の受注

→相乗効果による事業拡大

3 ネット通信販売拡大

→今後インターネットの活用がより人々の生活に身近となり発展してゆく市場の流れ

(参考) レンタルグリーン契約件数の推移(国内)



※当該推計値は矢野経済研究所「フラワー&グリーン市場に関する調査結果2012」のグリーン市場におけるリース/外業408億円に対する、2019年6月期の当社単体売上高における、レンタルグリーン売上高2,435百万円の割合を記載しております。

4 小売事業へのチャレンジ

■ フラワー、ガーデンショップの店舗数を拡大

➡ 新規出店に加え、M&Aも選択肢

■ ガーデンセンター

「the Farm UNIVERSAL」
(ザ ファーム ユニバーサル)

- ・大阪本社
- ・千葉



(ザ ファーム ユニバーサル 大阪本社)

■ グリーンショップ

「花と緑と雑貨のお店 りこしえ+」

- ・ブランチ神戸学園都市店
- ・イオンモール四條畷店

「the Farm UNIVERSAL」
(ザ ファーム ユニバーサル)

- ・銀座
- ・南町田グランベリーパーク
(2019年11月OPEN予定)



(ブランチ神戸学園都市店)

■ フラワーショップ

「Fleur Universelle petit」
(フルール ユニヴェセール プティ)

- ・東急プラザ 蒲田店

「Fleur Universelle」
(フルール ユニヴェセール)

- ・広尾店



(広尾店)

■ カフェ

「FARMER'S KITCHEN」
(ファーマーズ キッチン)

- ・大阪本社
- ・千葉
- ・南町田グランベリーパーク
(2019年11月OPEN予定)

「Les Grands Arbres」
(レ・グラン・サルブル)

- ・広尾店



(ファーマーズキッチン 大阪)

5 海外事業の展開

2007年12月 上海進出（上海寰球園芸産品租賃有限公司）

2015年4月 ワシントンD.C.進出 ローリング・グリーンズ・インク社を子会社化

2016年2月 セッジフィールド・インテリア・ランドスケープ・インク社より、
2支店を事業譲受

2016年5月 プレミア・プラントスケープス・エルエルシーより、
植物のオフィス向け販売・メンテナンス事業を譲受

2018年6月 シンガポール進出 ミラージュグリーン社を子会社化



将来目標

日本一の園芸会社

2026年6月期に

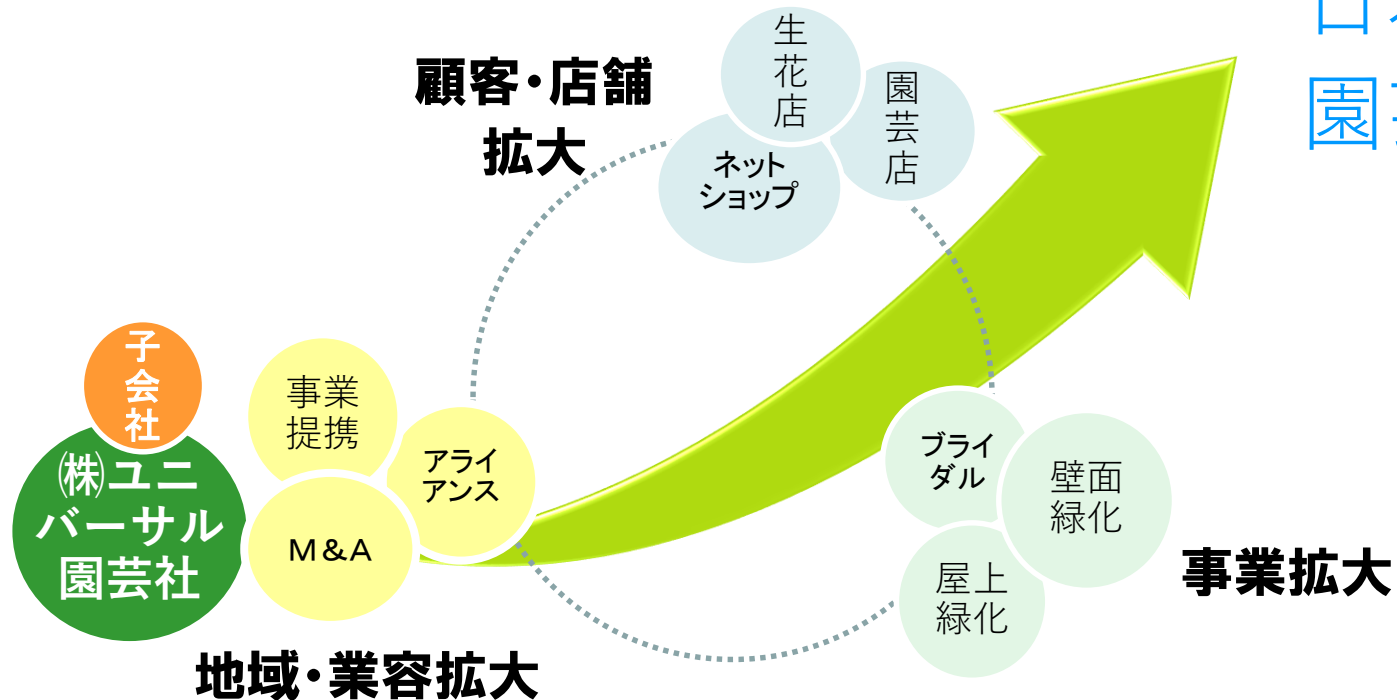
売上

連結売上高 300億円

利益

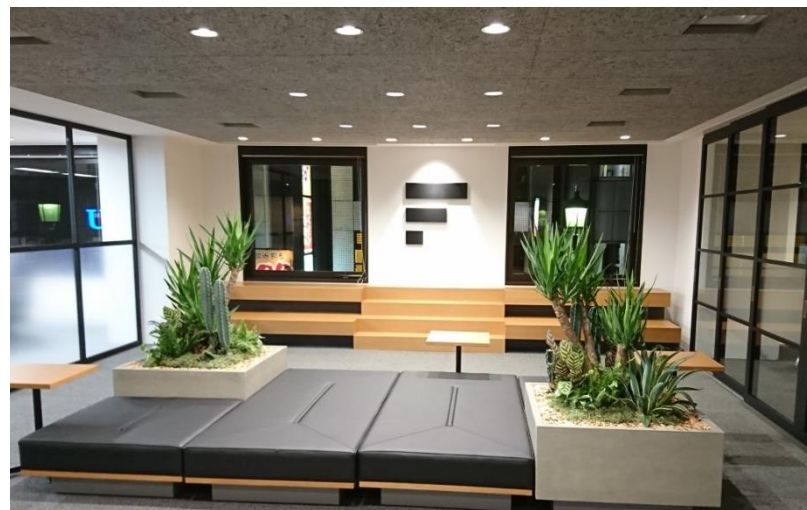
連結経常利益 30億円

事業戦略推進のイメージ



日本一の
園芸会社

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（レンタルグリーン） オフィス、エントランス他

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（レンタルグリーン）室内壁面装飾、アートフラワー

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（外構植栽、屋上緑化、壁面緑化）

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（季節商品（クリスマス等）、イベント、ブライダル事業）

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（造園事業、ネット事業、ギフト事業）

セグメントごとの納入事例・紹介



小売事業 (the Farm UNIVERSAL FARMAR'S KITCHEN)

セグメントごとの納入事例・紹介



小売事業(花と緑と雑貨のお店 りこしえ+ Fleur Universelle)

セグメントごとの納入事例・紹介



造花、光触媒、アレンジフラワーの卸売り、装飾ディスプレイからインテリア、ブライダル、ギフトまで
ビバ工芸のアートフラワーは多様なニーズにお応えします。



- トップ
TOP
- 商品案内
ITEM INFO
- コンセプト
CONCEPT
- 会社案内
PROFILE
- リンク
LINK
- コンタクト
CONTACT

トピックス *Topics*

ビバ工芸総合カタログ Vol.46、PDFダウンロード

美しく、可憐に、あざやかに、ナチュラルであれ！
オリジナルの造花にこだわり続け30余年・・・
ビバ工芸は今も生花越える造花を追い求めています。

1975年の創業以来、ビバ工芸株式会社の造花は「オリジナル」にこだわり続ける造花の卸売、販売メーカーです。

「花のある暮らしのご提案」として、ビバ工芸のウェブサイトは、私たちが創り出す「造花」を主に、光触媒加工、アレンジフラワーの商品情報をご紹介しますとともに、装飾用のディスプレイ素材からブライダル、ギフト用品としての「造花」をご紹介します。

シリーズのご案内 VIVA Original Series

2つのシリーズが造花の概念を変えていく!!

- フラワー
Flower
- グリーン
Green
- ブーケ
Bouquet
- アレンジ
Arrangement
- 季節商品
Season
- ブライダル
Bridal

卸売事業(高島屋植物園、ビバ工芸)

事業拠点

東京・名古屋・大阪の3大都市圏を中心としたサービス提供網を構築



大阪本社

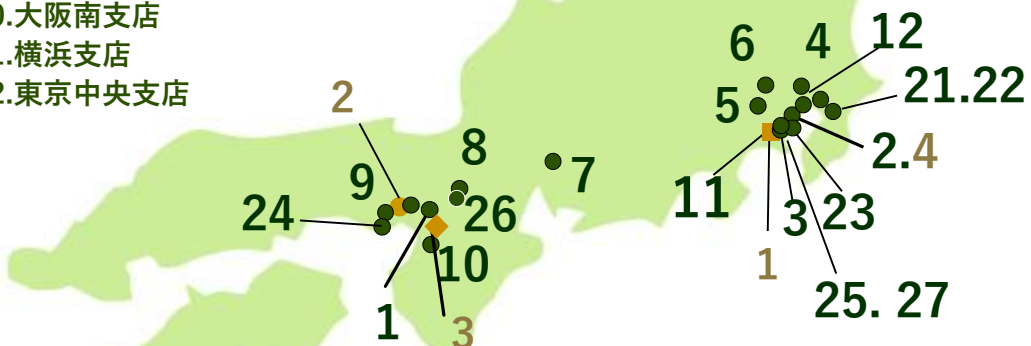
- 1.大阪本社
ザファーム
ファーマーズキッチン
- 2.東京本社
- 3.東京南支店
- 4.東京東支店
- 5.東京西支店
- 6.東京北支店
- 7.名古屋支店
- 8.京滋支店
- 9.神戸支店
- 10.大阪南支店
- 11.横浜支店
- 12.東京中央支店

- 21.ザファーム千葉
- 22.ファーマーズキッチン千葉
- 23.フルール・ユニヴェセール
&レ・グラン・ザルブル (広尾)
- 24.りこしえ ブランチ神戸学園都市店
- 25.フルール・ユニヴェセールプティ (蒲田)
- 26.りこしえイオンモール四條畷店
- 27.ザファーム銀座

個人向け店舗
(1.はガーデンセンター&カフェ)
(23.はフラワーショップ&カフェ)

[海外連結子会社]

- 1.上海寰球園芸産品租賃
有限公司<グリーン事業>
(2007年12月設立)
- 2.ローリング・グリーンズ・インク社
<グリーン事業>
(2015年4月子会社化)
- 3.上海香奇園芸有限公司
<グリーン事業>
(2017年3月設立)
- 4.ミラージュグリーン社
<グリーン事業>
(2018年6月子会社化)



[国内連結子会社]

- 1. ビバ工芸 (株) <卸売事業>
- 2. (株) 花守花の座 <小売事業>
- 3. (株) 高島屋植物園 <卸売事業>
- 4. 園芸ネット (株) <小売事業>

(子会社化)

- 2009年11月
- 2013年2月
- 2015年4月
- 2018年10月



東京本社

注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ユニバーサル園芸社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、2019年8月22日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資に際しての最終的なご判断は、投資家ご自身がなさるよう、宜しくお願い致します。